

【事業名】オガサワラハンミョウ・フサヒゲルリカミキリ生息域外保全事業（兵庫県伊丹市）

【団体名】公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団（伊丹市昆虫館）

令和6年度 生物多様性
保全推進支援事業
実績報告書別紙10-6

事業の背景・目的

現在の生息地が地球上で1ヶ所のみであり、さらに個体数の減少が著しい絶滅寸前の国内希少野生動植物種であるオガサワラハンミョウとフサヒゲルリカミキリの生息域外保全を行うことにより、種の保存に寄与する。両種ともに野生復帰事業に供することを最終目的とし、飼育技術の向上ならびに効率的な飼育方法の開発にも挑戦する。



事業の内容及びその成果

・オガサワラハンミョウの生息域外保全

- ・生息域外個体群を継続して維持することにより種の保存を図るとともに、野生復帰に必要な飼育繁殖技術の確立及び生態等の科学的知見の蓄積を行う。
- ・生体展示を行い、生物多様性保全にかかる教育普及に努める。



成果

累代飼育継続中、種の保存に貢献

羽化92個体、幼虫飼育158個体（令和7年3月9日時点）

成長が早く同年度内に卵から羽化まで至る現象の原因を解明（給餌頻度の過多）



・フサヒゲルリカミキリの生息域外保全

- ・遺伝的多様性に配慮した生息域外保全を実施する。飼育個体群の安定維持と累代飼育を継続するほか、発育速度の解明等生態に関する基礎的な知見を収集する。
- ・生体展示を工夫し、来館者に興味・関心を喚起することにより、生物多様性保全の効果的な教育普及に努める。



成果

4世代連続累代飼育成功、種の保存に貢献

羽化178個体、幼虫飼育数234個体（令和7年3月9日時点）

幼虫の休眠（低温処理）解除後から羽化脱出するまでの日数について、8つの温度区において結果を得た。

